

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)Caban Hayamaホテル新築計画	階数	地上3F、地下1F
建設地	三浦郡葉山町堀内字葉山955番2外4筆	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	232 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2022年6月3日
敷地面積	1,812 m <sup>2</sup>	作成者	(株)久米設計
建築面積	1,000 m <sup>2</sup>	確認日	2022年6月7日
延床面積	3,036 m <sup>2</sup>	確認者	(株)久米設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項		
総合	森戸海岸に隣接した土地に、RC造の地上3階・地下1階のホテルを計画した。	
その他	0	
Q1 室内環境	開口部の遮音性能等級は、T-2としている。	Q2 サービス性能 客室はゆとりをもった設計とし、維持管理機能に配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	0	
LR1 エネルギー	0	LR2 資源・マテリアル ODP=0,GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用した。
LR3 敷地外環境	ガラス前面に格子パルを設け、反射光を低減させることに努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される